広瀬淡窓 儒学者。豊後国日田で、**{咸宜園}**開き、卓越した精神と近代的教育で、全国から多くの俊才が集まった。

ひろせたんそう

天明大飢饉始1782 = 豊後国日田で、豊後国府内藩など諸藩の御用達{博多屋}広瀬三郎右衛門の長男に生まれる。

蘭学階梯・・1783 = 1歳：伯父夫婦に預けられ、

田沼意次失脚1786 = 4歳：

寛政改革始・1787 = 5歳：実家に戻り、

父の教育を受けた後、次々と師について学び、

混浴禁止・・1791 = **9歳**：

松平定信引退1793 = 11歳：_日田に来た父の友人高山彦九郎に才を賞され、

おつが 正月・1794 = 12歳：_日田代官の前で「孝経」の講義をするほどで、

写案・・・1795 = 13歳：_初めて日田を離れて佐伯を訪ね、藩校学頭になっていたかつての師松下西洋に学ぶ。

昌平覺始・・1797 = 15歳：_亀井南溟の塾に入ったが、

蝦夷地直轄始1799 = 17歳：_病のため退塾、

伊能測量始・1800 = **18歳**：危篤を乗り切った。

_以後、療養しつつ、独学。

_来訪した倉重湊に自己の進路を問い、儒の講義・教授を決意、

青洲麻酔手術1805 = 23歳：_*家業を弟広瀬久兵衛に譲り、家塾を開いた。

おつが船狼藉・1807 = 25歳：_豆田裏に塾を新築、桂林荘と名づけて、本格的な取り組みを開始、

浮世風呂・・1809 = **27歳**：

・・・・・1810 = 28歳：結婚。

高田屋拿捕・1812 = 30歳：母が死去、

この前後、亀井南冥ら師事した恩師も次々と死去する中、著述を活発に行なうとともに、塾生の増加により、堀田村秋風庵の西方に移して、

杉田玄白没・1817 = 35歳：_*咸宜園を開いた。塾舎のほか書楼遠思楼を建て、門生を指導。

水野忠成老中1818 = **36歳**：

英船浦賀来航1822 = 40歳：伯父夫婦が共に死去、

シベリア来日・1823 = 41歳：25年下の末弟旭荘を嗣養子とし、

異国船打払令1825 = 43歳：_塾生3人を病で失うとともに、自らも大病、以後も病がちで、

日本外史・・1827 = **45歳**：

富籤流行・・1830 = 48歳：_塾政を弟旭荘に任せて講義のみ担当するようになる。

富嶽三十六景1831 = 49歳：_*以降月旦評が内外で問題となる。

高島砲術・・1834 = 52歳：父が死去。

・・・・・1836 = **54歳**：

大塩平八郎乱1837 = 55歳：

阿部正弘首座1845 = **63歳**：

ペリー来航・1853 = 71歳：

開国開港・・1854 = **72歳**：

松下村塾・・1856 = 74歳：_没した。

著述に「儒林評」「淡窓六種」などがある。